

若草3組 学級活動「みんなでききあい、はなしあおう」



【分科会提案・目指す児童像】

分科会提案

「学級活動」の題材として宿泊学習を取り上げた。初めての宿泊学習ということもあり、「トイレが心配だな。」「お土産を買うのが楽しみだな。」などの声が聞かれた。子どもたちが自分事として考えやすい題材であり、「自分の思いを伝えたい」と思える内容であった。楽しみや不安が入り混じる切実な感情を仲間と共有することで、当日において見通しをもって活動する姿や、宿泊学習を楽しむ前向きな気持ちへとつなげていきたいと考えた。

目指す児童像

○友達の意見を聞き、考えの良さ(共感・比較)を認め合うことができる児童

導入の部分で前年度の活動写真を提示した。視覚的な情報を活用したことで、イメージをもって話し合いに参加することができた。しかし、具体的に何を話すのかが分かりにくく、話し合いがスムーズに進まなかった。授業後の協議会では、「楽しみなこと」「少し不安に思っていること」など項目を分けて話し合う時間を設けることで、話す側も聴く側も活動しやすかったのではという意見があった。

【成果・課題】

成果(学校生活において)

- ・自分の思いを友達に発表したり、友達の思いとの相違点について気付いたりすることができた。
- ・見通しをもって宿泊学習に臨むことができた。

課題

- ・話し合いの視点が児童にとって分かりにくいものであったため、何について話すのかを明確に提示する必要がある。
- ・言語コミュニケーションが乏しい児童への配慮(写真を活用して指差しを行う。教員が代弁をするなど)